

生活創造しんぶん

編集・発行

県立姫路生活科学センター内
生活創造応援隊

くらしのクリエイターをご存知ですか？

くらしのクリエイターは、消費者団体や地域団体での活動者、また、生活創造大学の修了者、公民館活動の指導者等の中から、市町長の推薦にもとづき選ばれた方々です。先日9月24日に姫路生活科学センターにおいて（中播磨地域 54 名／西播磨地域 85 名）の方々に対して委嘱式が行われ、委嘱状が手渡されました。任期は2年間です。



～わたしのクリエイター活動～



新しいライフスタイルづくりをめざして、多様化するくらしの問題に対応し、地域における主体的な活動の輪を広げるためのキーパーソンの役割を担っています。

生活創造大学や各講座等で学んだことで、くらしに役立つ情報を近所の人たちに伝えています。たとえば、過大包装追放運動や容器包装類のリサイクルなどのワンポイントアドバイスや、セミナーや講座への参加を呼びかけるなど、生活情報や地域の情報を収集・発信しています。

私たち夢前町くらしのクリエイター6名は、町の消費者協会と連絡を密にし、支援を受けて平成13年度より身近な問題を取り上げて、くらしのクリエイター主催による「消費者セミナー」を開催しています。

今夏にも県の生活科学センターの方に「悪質商法にご用心！！」と題し実例を含めて講演をしていただきました。毎回消費者にとっての身近な問題を取り上げていますので、関心も増して回数を重ねるごとに出席者も増えています。（次回は平成15年3月を予定）

最近夢前町の北部では、弱い立場の高齢者を相手に悪質な販売方法が数多く増えています。それを何としても未然に防止していきたいと思い、町内の敬老会に対して啓発チラシ2000枚を配布し呼びかけをしました。

訪問販売などの契約は8日以内だとクーリングオフという無条件解約も出来ます。消費者契約法も平成13年4月より施行されましたので、「困ったな～でも恥ずかしいから・・・」などとあきらめないで！！！私も昨年7月から3件のクーリングオフのお手伝いをしてきました。どうか気軽に私たちくらしのクリエイターに声をかけてください。

私たちくらしのクリエイターはみなさんのお役に立てると思います。

夢前町くらしのクリエイター 布田 清美（生活創造応援隊）



「家庭と仕事」研究室

代 表 藤浦 剛

男性も女性も「家庭と仕事」を両立できる生き方・暮らし方・働き方を研究し、啓発・普及することを目的としたグループです。

活動としては、隔月で情報誌「家庭と仕事」ネットワークを発行しています。(会費、購読料で年間2千円)

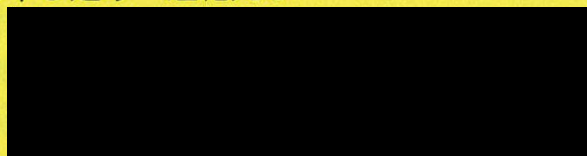
また、男女共同参画社会の形成やそれに関わる暮らしや経済に関する諸問題についての調査研究、講演会など事業企画実施、NPO活動コンサルティング、政策提言、講師派遣等を行っています。ご相談ください。

「子どもへのジェンダー平等教育を」と題しまして学校におけるジェンダー教育を進めるための連続講座を開催しています。

すでに10月に2回開催し、第3回は11月23日午後3時から(姫路工業大学環境人間学部助教授 勝木洋子さん)を講師にお招きして開催します。参加費は無料

会場はイーグレ姫路4Fセミナー室Cです。

お申し込み・連絡先は



《みんなの地球はりまネット》



山下 理恵

便利・快適、大量生産・大量消費、開発・競争を追及する文明から 自然調和、安心・安全、命の共生循環の価値観へと転換することの大切さに気づき、ライフスタイルを見直すグリーンコンシューマーの輪を広げるために啓蒙・啓発活動を行っているグループです。

「みどり・みんな・みらい」を合言葉に、「知る・学ぶ・変わる・実践する・伝える」活動や地球環境セミナー、展示イベント、出前講座、ミニコミ誌での環境情報記事の連載(「地球は今・・・だからエコライフ」・「みどり・みんな・みらい 地球共生をめざして」)、はりま環境図書館、環境家計簿やエコチェックカレンダーの普及、環境かるた、紙芝居や人形劇、行政との環境市民会議、お店や学校・保育園へグリーン購入や紫外線情報の広報、「森にお帰り」展示と植樹キャンペーンなど、

さまざまな啓発活動を展開しています。地球環境の実態がますます深刻さを増している今、ドイツなど環境先進国に学び、自然、環境をだいじにするグリーンコンシューマーを増やし、環境調和、自然循環社会の実現を目指したいと願っています。

《みんなの地球はりまネットの皆さん》



「自然育児友の会」

「自然育児友の会」は1983年、母乳育児、自然育児をめざすお母さんたちの中から生まれました。子育てについて様々な情報や物が氾濫している現在ですが、昔ながらの知恵を活かし子育て中のお母さんが、毎日の暮らしをシンプルに楽しく過ごすために本当に必要な情報を伝え合う活動をしています。この会員であった奥田さんが近くにいる同じような価値観を持つお母さんたちと知り合いたい、情報交換をしたいと呼びかけ始まったのが「自然育児の会」で、現在 姫路市・高砂市・揖保川町・太子町に約20名のメンバーがいます。月1回マクロビオティック学習、情報紙の発行、わらべ歌の会を行っています。

9月27日、飾磨市民センターで行われた「わらべ歌の会」をのぞいてみました。8組の親子が輪になって、「こーぶろ こーぶろ」「にくやのおじさん」「かたどん ひじどん」「かごかご」「なみなみわんわちゃくり」「沖縄の子守唄」「やまやまのおっこんさん」等、情緒に溢れ郷愁を誘う歌を楽しんでいました。

お昼には自然の恵みを生かした手作りのお弁当をひろげ、テレビやゲームでは味わうことができない大切な時間を過ごせたのではないのでしょうか。このような歌や食べ物に包まれて育った子ども達はきっと豊かな感性を失わずに大きくなってくれるでしょう。

岩田 清美（生活創造応援隊）



「点字講習会」



私が所属しています「福崎点字の会」は昭和57年2月に設立され、視覚障害者2名を含む11名の会員で構成されています。今回は福崎のサルビア会館で「点字講習会」を開き、小中学生18名の参加がありました。点訳とは“墨字原文をその内容にできるだけ忠実に点字に置き換える”作業です。より良い点訳をするには、点字表記の規則や漢字の読み取りなど必要なことを調べ、視覚障害者が求める情報を正しく迅速に提供する地道な努力がいります。しかし誰にでもすぐに始められるひとりでできるボランティアです。

あなたも「点字」に触れてみませんか！

高岡 邦子（生活創造応援隊）

～わがまち夢前「雪彦マラソン」～

秋の一日を雪彦の自然につつまれた夢前町で楽しんでみませんか！

杉の木立、谷川、緩やかなカーブを進んでいくと目の前に姿を見せた雪彦山は標高 915 ㍎、日本百景、日本三彦山（新潟県弥彦山・福岡県英彦山・兵庫県雪彦山）の一つです。豊かな自然と切り立つ岩壁は、凛とした力強さを備え、一方では関西屈指のロッククライミングの練習場としても親しまれています。11月10日（日）には夢前町役場周辺及び雪彦山のふもとで『第15回雪彦マラソン』が行われます。町の内外より約3000人のマラソン参加者および応援のかたがたを迎え大ビンゴゲーム大会・特産品コーナーなど楽しいイベントが数多くあります。

町内各所に塩田温泉郷の各旅館及び保養所などまろやかなお湯にあふれる「温泉」が沢山ありますので、ご家族ご友人とゆ～っくりとあたたまりにお越しくださいね。

谷口 昭子（生活創造応援隊）



《町の各所にあふれるコスモス》



郷土芸能「おおかわち太鼓保存会」



《砥峰高原のすすき》



古来より人々の暮らしの中に根付き、日本の心の響きとして親しまれ発展を遂げてきた和太鼓は、古典民族文化そして現在の民族文化の象徴と言っても過言ではないでしょう。

この和太鼓の響きをふるさとの心の音とし平成元年に結成されて以来、峰山高原・砥峰高原を母体として郷土を想う熱い心を表し、ボランティア精神を基本に町内外の行事・式典・慰問等、年間20回以上の演奏活動を行っています。週一回ですが中学生から50代の方まで楽しく真剣に練習に励んでいます。また、後輩の育成にも力を注いで、小学生を中心の「たいこキッズ鼓虎」も先輩に続けとがんばっております。

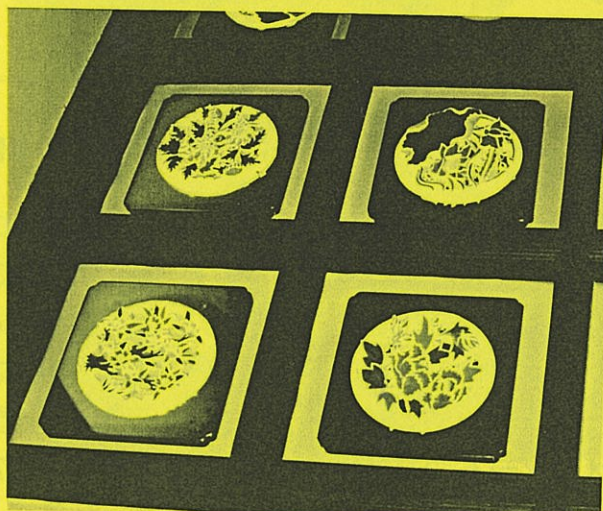
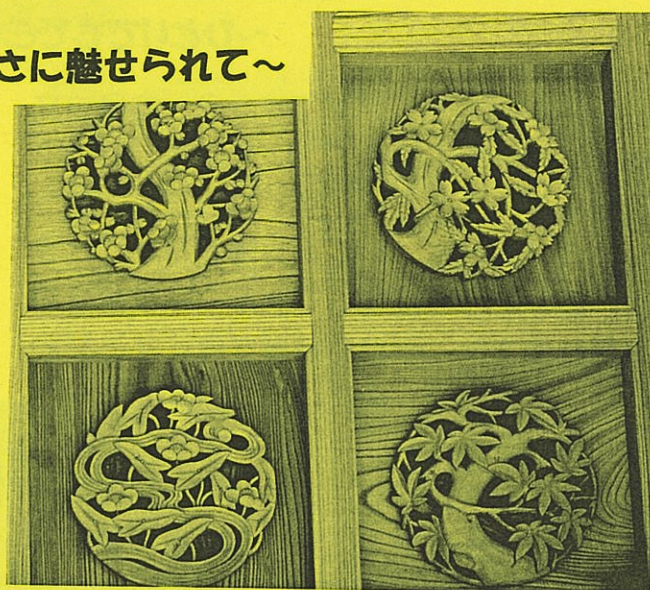
塚原 多恵子（生活創造応援隊）

～格子天井の美しさに魅せられて～

姫路市御国野町御着に深志野上流からの流れである『天川』^{あまかわ}という川を国道から25mも下ると、今回の取材場所である金剛山徳證寺の山門が見える。この山門も昨年完成した格調高い建造物ですが、私がぜひ紹介したかったのは本殿の格子天井です。

“見上げてください！”本殿天井に木造彫刻物が見えます。太いさお縁を基盤の目に組み上げた天井を格天井と言ひ、格天井は煩悩の数に準えて108個！手がけた棟梁は、国宝姫路城の昭和の大修理に参加し、

“NHK プロジェクトX”に名をつらねた姫路市北平野在住の大内卓司さん(69才)です。その天井板に金箔を施し、中国に発注された誠に見事な彫刻物が貼り付けされております。社殿建築において天井の美は襖の美術に比較すると人気は今一つであります。しかし一昨年に亀山本徳寺に8年の歳月をかけて完成し、披露された石川よし子さんの天井絵の見事さも合わせて紹介をします。機会があればご覧になって下さい。本殿の天井は平成14年7月26日完成。



三木 勝（生活創造応援隊）

～“香照苑”の夏祭り～

夏も終わりの8月31日に香寺町須加院にあります特別養護老人ホーム“香照苑”においてボランティアの参加者を迎え盛大に夏祭りが催されました。香寺民謡会の方々の盆踊りには元気な参加者が一緒に輪に入り笑顔がたえません。“吹弾”5名による津軽三味線の素晴らしい演奏、“鯨”10名の和太鼓の演奏には日本の伝統の音色に皆々酔いしれました。光と緑に囲まれた安らぎの地、須加院の里において“行く夏”を満喫しました。

鎌谷 節子（生活創造応援隊）

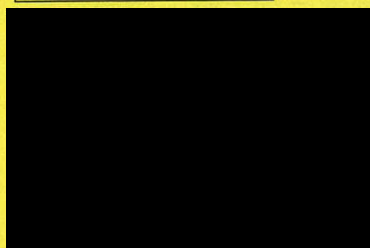


～ひとりでもできるボランティア～

「ベルマーク」をご存知ですか？ 食品や文房具などの日常生活品についている、あの小さなマークのことです。捨てればゴミになってしまうけれども、PTAの皆さんがこれを集め、会社ごとに整理してベルマーク教育助成財団に送ると、学校の設備を良くするなど助け合い運動の輪が自然に広がる仕組みがつくられているのです。

「子育ても終わったし送り先も分からないし関係ないわ！」なんて言わずに家の中に眠っている「ベルマーク」を探してみませんか？
ひとりでもできるボランティアなのです。

ベルマーク送付先



早瀬 芙沙子（生活創造応援隊）

～危な～い情報～

以前に屋根替えをさせてもらったお客さんからの電話がありました。リフォームの訪販業者が「お宅の瓦がずれていますよ！」とビデオカメラに撮ったのをみせて、屋根替えを勧めてきたそうです。主人がすぐに見に行きましたところびくともしていないので、「お宅の屋根瓦は大丈夫ですよ」と太鼓判を押して帰って来ました。これは（瓦をずらしてビデオを撮り、また元に戻しておくという手口）で不要なリフォーム契約を取るという悪徳商法です！家の中に入ってテレビにビデオカメラをつなぎ熱心に説明をされますとだまされる人も多いのではないのでしょうか。



みなさん他人事ではありませんよ！ どうか気をつけてくださいネ！

安井 一代（生活創造応援隊）

～こころの洗たく～

時代の流れについていけずに悩んでいる人、一人暮らしで淋しい思いの高齢者に朗報です！！姫路の網干にある大覚寺の中西住職が電話で3分間の法話をして下さいます。心あたまるお話を聞くことが出来て24時間電話は通じます。1週間ごとに内容も変更されます。

少しほっとする時間を持ちませんか？

大覚寺 テレホン法話



高橋 正美（生活創造応援隊）

～空気の重さを知っていますか？～

空気にも重さがあるのを知っていますか？
空気(気体)は水(液体)や鉄(固体)のようにそのままでは、量ることは出来ませんが、押し縮めることが出来る性質を利用して、重さを量ることが出来ます。

私達のまわりにある空気の重さは？

1㍓で（約 1.2 ㍓）1円玉1個と同じくらいの重さがあるのです。

三木 勝（生活創造応援隊）

「中播磨地域グリーンエネルギー普及促進協議会」

この協議会は、中播磨地域における地球温暖化防止対策を推進し、グリーンエネルギーの普及を図るために設置され積極的な取り組みについて協議されています。

グリーンエネルギーとは

エネルギー効率の高い家電製品等の使用、製造工程におけるエネルギー使用の合理化等の「省エネルギー対策」と①太陽光発電・熱利用、②風力発電、③バイオマス（木材などの生物資源）発電・熱利用、④廃棄物による発電・熱利用、⑤工場廃熱、中小水力発電等の未利用エネルギーの導入等「新エネルギー対策」を言います。また、太陽光、風力、水力、バイオマスなどは「自然エネルギー」

と言われ、自然が常に生み出し、枯渇しない再生可能エネルギーです。



「自然エネルギー」への転換

地球温暖化問題や資源枯渇を考えると私たちの日常生活での「省エネルギー対策」と併せ、個人の住宅でも太陽光発電施設（ソーラーパネル）の設置等で可能な事については積極的に導入し、有限な化石燃料（石油・石炭・天然ガス）から「自然エネルギー」に転換していくことが望まれます。



兵庫県地球温暖化推進員

溝口 章宏（生活創造応援隊）

～食品乾燥剤を土壌の中和剤に使っています～

食品乾燥剤というものが家庭に入り込んでいます。海苔・せんべいなどの包装内に少量ですが、アルカリ性の石灰系乾燥剤がついてきます。これの主成分は生石灰です。これらの乾燥剤はその役目が終わりますと、全国で年間約3～4万トンが生ゴミとともに焼却炉へと運ばれ焼却処分です。環境保全の立場からみると、資源の再利用が出来る石灰なのです。

そのアルカリ性の石灰系乾燥剤を庭土・プランター・植木鉢などに還元すれば、酸性化を防止し土壌の中和剤の働きをしてくれるでしょう。

環境にやさしい再利用です。

三木 勝（生活創造応援隊）



2002 西播磨生活創造大会

21世紀に入り、人々の意識や価値観はモノから心の豊かさにシフトされはじめ、成長の時代から成熟の社会へと大きく変化してきています。これまでとは少し違った幅の広い生活創造活動の視点でくらしを見直すときにあるようです。

そこで、文化・経済・くらしのかかわりからこれからの新しいライフスタイルをみんなで考えるために講演会を開催します。

日 時 平成14年12月12日(木) 13:30~16:00

場 所 イーグレひめじ3階 あいめっせホール

(姫路市本町68-290)

テーマ 「新しいライフスタイルを求めて~文化・経済・くらし」

講 師 はた のぶゆき
端 信行

京都橘女子大学文化政策学部教授・文化政策研究センター所長
兵庫県立歴史博物館館長

寸 劇 「くらしに活かそう任意後見制度」

—出演—神戸生活創造センター登録グループ

《えーやん人が好き・ねっと》

主 催 西播磨消費者団体連絡協議会

県立姫路生活科学センター

県立西播磨生活科学センター

姫路市

(社団法人)家庭電気文化会

※参加費無料/参加ご希望の方は当センター(山本)へ

~ センターからのお知らせ ~

「食」に対する消費者の不安解消を受けとめるため、「食」の安全・安心に関する総合相談室を開設します。「食」の安全・安心推進員を配置し、専用電話による相談業務を行います。

—業務内容—

- ① 専用電話による「食」の安全・安心に関する相談の受付・処理に関する業務
- ② 「食」の安全・安心についての情報の収集・提供に関する業務
- ③ JAS法等違反に対して、関係行政機関への通報業務
- ④ その他「食」の安全・安心を確保するために必要な業務

「食」の安全・安心専用電話は

「食」に関することはお気軽にご相談ください。



中播磨地域でがんばっているグループ

キラッと輝いている人・いい話を

生活創造しんぶんの紙面でご紹介します。

12月5日までに原稿をお寄せください。

次回は平成15年1月発行予定です。

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ
姫路市新在家本町1丁目1番22号
県立姫路生活科学センター内 玉田